

# インタビュー3

## 蔵の街プロジェクト

### どのような取り組みをされるのですか

学生たちが主体となって、実際にまちに出て、調査等を通して、蔵の街・半田市の再発見を行っています。

知多地域は古くから醸造業が盛んで、中でも半田市の衣浦湾沿いの醸造倉庫群は近代産業史上において、重要な建物群であり、すぐれた景観を保持しています。

まちの再発見にあたって、3回にわたってイベント時に半田市の集客力をみるためのアンケート調査を行います。

そして、まち並み再発見という視点で、学生たちがデジカメを持って、実際にまちに出て、素晴らしいと感じた風景を撮影していきます。

アンケート調査データ、まち並み映像データを分析して、住みたいまちを考え、半田市のまちの再発見につなげていきます。

### 学生たちに学んでほしいこと

あなたにとって、住みたいまちとはどんなまちでしょうか。常にその視点を学生に問いかけながら、主体的に取り組んでもらいたい。

今回のプロジェクトを通して、自らで問題提起ができ、解決することができる学生を育てていきたい。

半田市のまち並みで素晴らしいところや他のまちの素晴らしいところを学生たちが自分の足で歩き、自分の視点で写真をとってきて、その写真から地域特性や歴史的な背景を自ら学んで欲しい。

行政活動や地域の取り組みに関心を持つ学生が増えてくることを願っています。

### 地域への貢献について

「いいまち」というのは、「観光」「産業」「住みたいまち」という3つのキーワードを融合したところに存在するのではないかと考えています。

今回のプロジェクトを通して、半田市における「観光」「産業」「住みたいまち」という視点で再発見を行っています。なおかつ、いいまちという視点から、他のまちの良いところの画像も学生たちが集めてきて、半田の育んできた風土にあった形で提案していきます。

地元の人では、気づかなかった半田市の素晴らしい部分を再発見していくことで、半田市の新たな魅力づくりにつながり、大学として知多地域の活性化に貢献できることを願っています。



経済学部 鈴木 健司 講師

### プロフィール

1970年生まれ。財政学を専門分野とし、特に租税と財政支出の経済分析を行う。主な研究課題として、所得税の経済分析、福祉財政、公共投資の経済分析。趣味は、テニス、読書。半田市の産業・観光振興計画に携わる。

### アンケート調査を行いました

はんだふれあい産業まつり会場で、アンケート調査を行いました。下記の写真はアンケート調査風景を写したものです。

当日は、10時から15時頃まで、8名の学生たちが来場者に調査を行い、約350データを集めることができました。

最初は、なかなか調査のお願いができずに戸惑う学生もおりましたが、次第になれて積極的に行っていました。調査を通して、人と触れあうことで、学んだことも多かったようです。

調査データは、半田市の集客力をみるための基礎資料として活用します。



はんだふれあい産業まつり会場でアンケート調査を行っている学生。(2004年11月14日)